



# 動き出す 駅前通りの整備

1条から4条間

駅前通りは、岩見沢駅から緑あふれる利根別原生林へとつながり、まちなかと郊外をつなぐ役割を担う大切な道路です。

この駅前通りの1条から4条間の道道岩見沢停車場線の整備は、長年の課題でしたが、このたび整備の実施に向けて、北海道と市が協力して計画を作成になりました。

## これまで

駅前通りは、平成8年に1条から4条間を幅32mの4車線道路に拡幅する都市計画の決定が行われました。

しかし、その後、岩見沢市の人口や通りの交通量が減少したため、平成18年に幅22mの2車線で整備を行う都市計画の変更を行いました。

地元商店街が中心となり、駅前通りの整備や通り沿いの整備のあり方

について検討するため、平成9年に駅前通り沿いの土地や建物の所有者、市民団体の関係者などで構成する、駅前通りまちづくり協議会を発足させました。

その後、さらに多くの方の意見を取り入れ、より良い整備を行うために、テナント入居者の方を構成メンバーに加えて、平成17年に駅前通り整備促進期成会を設立し、今日まで検討を行ってきました。

また、北海道では、知事が諮問して、その答申を行う公共事業評価専門委員会で、駅前通りの整備についても議論が行われました。そして、今年5月に拡幅整備の必要性が認められました。

## 役割と整備の考え方

### シンボルゾーンとして

市は、活力ある都市づくりを進めていくための基本的方針である都市計画マスタープランや緑の基本計画の中で、公共施設や病院、金融機関などが集まり、街路樹や緑地などもある駅前通りを重要な通りに位置付けています。

この駅前通りの基点には、昨年6月にオープンした岩見沢駅、さらに来年4月の使用開始を目指して整備が進む、複合駅舎や有明連絡歩道、

